

# 特集

輪・和・話  
知恵の 人の マチの

# 皆で協力！除排雪



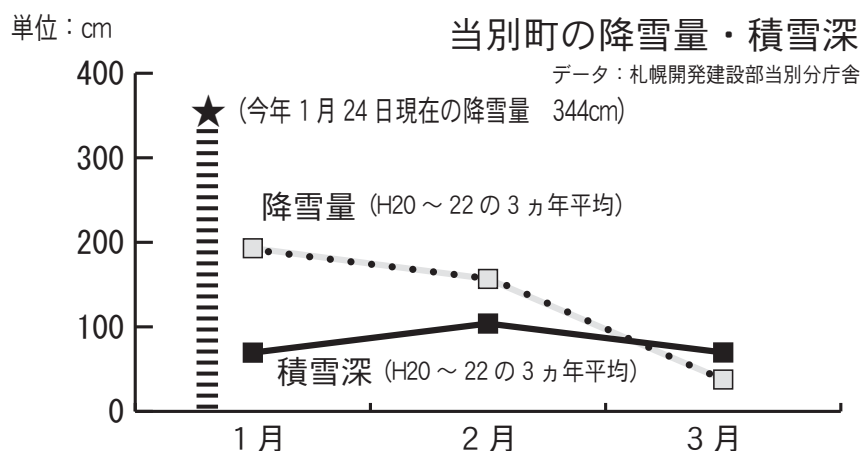
## 2月、暦の上ではもう春！

しかし雪はこれからも続きます。

## 雪で困らないために、私たちが出来ること

雪には慣れた本町でも1月8日から10日にかけて連続した降雪（139cm）があり、休む間もなく16日にも大雪が降り、毎日が家の周りの除雪作業という方も多かったようです。

町では除雪車両99台を動員、市街地の交通網の確保、生活道路の除排雪に取り組んでますが、雪が降ること自体は自然の成り行き。ここは、いかに協力して安全に生活できるか、私たちが出来ることについて考えてみましょう。



仕事は車を掘り起こすことから（1/11 役場前）



## できる事その① 道路には雪を出さない

捨て場に困るのはどこも一緒、しかし道路は公共スペースであり生活や仕事、経済活動を支える動線です。雪が深くなった道路では、ハンドルが取られたりするなど交通事故も危惧されます。自宅敷地などからの自分勝手な雪出しは慎むべきです。



歩道の確保は安全の確保  
除排雪歩道の延長は28kmにもなります。家の雪は出さないように！

## できる事その② 助けあいの心で

ご近所に、お年寄りや障がいのある方の一人暮らし世帯はありませんか？戸が開かないとか、屋根の雪が溜まっていませんか？時には心配事を聞いてあげたり、地域で声をかけ合うことも心の支えになります。自衛隊、当別高校、スポーツ少年団などが毎年ボランティアの除雪を行っています。

## できる事その③

### 屋根の雪は2人以上で

1月の大雪により、町内外でも屋根の雪下ろしや除雪作業中の死亡事故が多発しています。

特に屋根の雪下ろし作業は、必ず複数で行い細心の注意を払いましょう。難しい場合は業者に相談しましょう。決して無理をしてはいけません。

## できる事その④

### 冬こそふれバで

雪の堆積により JR 駅周辺などでは駐車スペースが不足します。こんな時こそ、地域公共交通「ふれバ（ふれあいバス）」が役に立ちます。また、雪道の運転が不安な時も、ふれバや JR はより確実です。

## できる事その⑤

### 腰痛防止にストレッチ

自分の体力を過信し、頑張り過ぎて腰を痛める 50、60 代の男性が多いといわれています。予防としては①膝を軽く曲げ、腰への負担を減らすように脚の筋肉のほか全身を使う。②除雪用具は、前かがみにならないよう適度な長さのものを。③始める前に上体を後ろに反らすストレッチを 10 回程度。このことに気をつけ、苦痛な除雪も、ダイエットや冬の体力づくりに！

駅周辺の駐車場も雪に埋めると・・・



## できる事その⑥

### ゴミ出しのタイミング

ゴミが雪下に隠れていると、作業の妨げになるばかりでなく、雪捨て場が春先にゴミの山になります。ごみ収集車の巡回曜日、時間を考えてゴミ出しを！

同様に、散歩をさせているペットのフンの始末もお忘れなく。

## 埋めないで！消火栓 消防署からお願い

除雪作業中、除雪機などで道路わきの歩道などに雪を堆積することが見受けられます。消火栓、防火水槽などに堆積すると非常時に消火活動の妨げになります。消火栓、防火水槽の位置を確認の上、雪で埋めないようにお願いします。



町内には消火栓 241 基  
防火水槽 50 基があり  
いつでも使用できるように  
除雪の必要があります。

## 除排雪のオペレーターから



### 安全第一 頑張るしかないね！

これほど続けて降ったのでは、どんなに頑張ってもとても追いつかないね。大雪の後は人が変わったように苦情が増える。きれいによけているにも関わらず、その後、すぐに雪を出す人もいる。作業が詰まっているから先に進まなければならない。一生懸命やっているお年寄りを見かけると、本当に気の毒な気持ちになるね。それから吹雪の日の運転は本当に疲れる。何日も続くと限界を感じるけれど安全第一、頑張るしかないね。それがすべてだよ。